

事業の名称（提案種別 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型）	
ペット動物災害対策事業	
団体名	担当課名
彩の国動物愛護推進員ちーむ富士見	安心安全課
事業の目的	災害時、家族とペットがともに安全に避難でき、一緒に暮らせるように日頃からの心構えと備えのしつけ等の重要性を啓発することを目的とする。
役割分担	<p>【団体】</p> <p>防災訓練等に参加し、ペット同行避難やペットのための災害時の備えについて呼び掛ける。</p> <p>【担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報やホームページによる周知</li> <li>・ 町会等への連携協力依頼</li> <li>・ ペット同行避難等に関する講座の実施</li> </ul>
事業の決算額	168,247円（市補助金 168,247円）

1 協働事業の実施内容について

市や町会が開催する防災訓練・商業施設のイベントに参加しペット同行避難の理解を深めた。

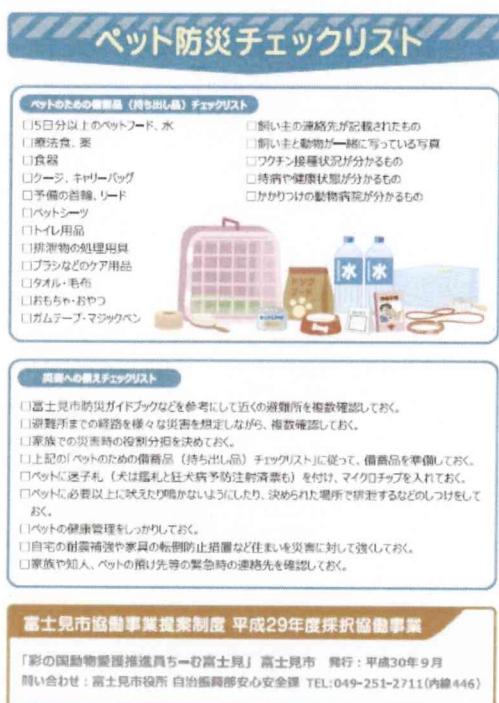
「同行避難」「同伴避難」の違いを知ってもらい、ペットと同行避難する際に注意することを周知するほか、準備しておくべきペットに関する備蓄品を展示し、ペット防災に関する知識の普及啓発を行った。災害時に役立つ「ペット防災手帳」や「あなたとペットの防災対策」リーフレットを作成配布した。

・「あなたとペットの防災対策」リーフレット作成

全戸回覧 9月広報 6000部 防災訓練等配布用 4000部

「ペット防災手帳」作成

防災訓練等配布用 5000部



**ペット防災チェックリスト**

ペットのための備蓄品（持ち出し品）チェックリスト

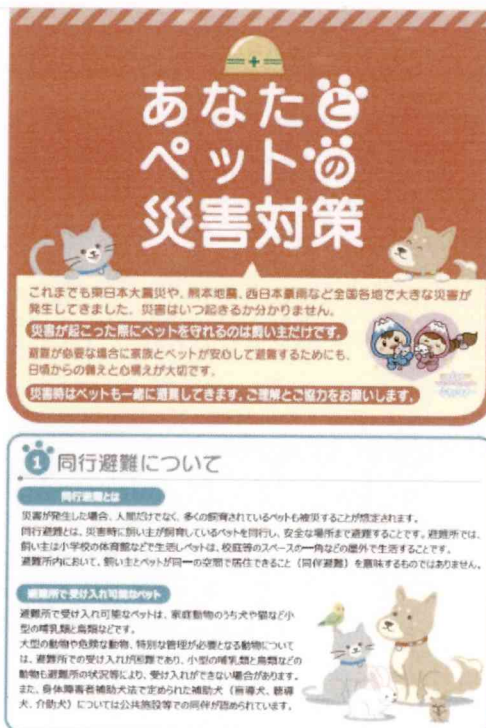
- 15日分以上のペットフード、水
- 猫用トイレ、糞
- 食糧
- クラージュ、キャリーバッグ
- 予備の首輪、リード
- ペットシート
- トイレ用品
- 排泄物の処理用具
- プラシなどのケア用品
- タオル・毛布
- 持ちもちやおやつ
- ガムテープ・マジックペン
- 新しい連絡先が記載されたもの
- 飼い主と動物が一緒に写っている写真
- ワクチン接種状況が分かるもの
- 持病や健康状態が分かるもの
- かかりつけの動物病院が分かるもの

災害への備えチェックリスト

- 富士見市防災ガイドブックなどを参考に近隣の避難所を複数確認しておく。
- 避難所までの経路を様々な災害を想定しながら、複数確認しておく。
- 家族での災害時の役割分担を決めておく。
- 上記の「ペットのための備蓄品（持ち出し品）」チェックリストに従って、備蓄品を準備しておく。
- ペットに迷子札（犬は鑑札と狂犬病予防注射済票も）を付け、マイクロチップを入れておく。
- ペットに必要以上に吠えたり鳴かないようにしたり、決められた場所で排泄などのしつけをしておく。
- ペットの健康管理をしっかりしておく。
- 自宅の耐震補強や家具の転倒防止措置など住まいを災害に対して強くしておく。
- 家族や知人、ペットの預け先等の緊急時の連絡先を確認しておく。

富士見市協働事業提案制度 平成29年度採択協働事業

「彩の国動物愛護推進員ちーむ富士見」 富士見市 発行：平成30年9月  
問い合わせ：富士見市役所 自治振興部安心安全課 TEL:049-251-2711(内線446)



**あなたとペットの防災対策**

これまでも東日本大震災や、熊本地震、西日本豪雨など全国各地で大きな災害が発生してきました。災害はいつ起きるか分かりません。

**災害が起こった時にペットを守るには買いただけです。**

災害が必要な場合に家族とペットが安心して避難するためにも、日頃からの備えと心構えが大切です。

**災害時はペットも一緒に避難できます。ご理解とご協力をお願いします。**

**1 同行避難について**

**同行避難とは**

災害が発生した時、人間だけでなく、多くの飼育されているペットも被災することが想定されます。同行避難とは、災害時に飼い主が飼育しているペットを同行し、安全な場所まで避難することです。避難所では、飼い主は小学校の体育館などで生活し、ペットは、校庭等のスペースの一角などの場所で生活することです。避難所において、飼い主とペットが同一の空間で滞在できること（同行避難）を意味するものではありません。

**避難所で受け入れ可能なペット**

避難所で受け入れ可能なペットは、家庭動物のうち犬や猫など小型の哺乳類と鳥類です。

大型の動物や危険な動物、特別管理が必要な動物については、避難所での受け入れが困難であり、小型の哺乳類と鳥類などの動物も避難所の状況等により、受け入れができません。また、身体障害者補助犬法で定められた補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）については公共施設等での同行が認められています。

・防災訓練等

- 9/28 防災訓練 水谷小学校 95人
- 2/17 防災訓練 みずほ台小学校 約250人
- 3/2 防災イベント &EARTH ららぽーと富士見 約600人
- 3/16 出前講座 防災 あらかわ会館第5南畑町会 21人



・打ち合わせ

- 6/27 リーフレット作成&防災訓練日程 安心安全課 1回目
- 7/11 リーフレット作成&防災訓練日程 安心安全課 2回目
- 7/13 リーフレット作成 梅田印刷
- 1/30 &EARTH ららぽーと富士見 安心安全課
- 3/25 事業完了報告書類等打ち合わせ 安心安全課

・その他

- 7/27 町会長連合会長会議
- 1/26 犬の飼い方しつけ方教室 (ふじみ野地区狂犬病予防協会)

2 協働事業の実施した結果について

防災訓練や商業施設のイベントに参加し、リーフレットの配布やペット防災講座を実施することで動物を飼っている人にも飼っていない人にもペット防災に関する知識の普及啓発を行うことができた。

また、日ごろからの備えやしつけの大切さを知ることによって飼い主の意識のマナーの向上・適正飼養に繋がった。

3 団体、担当課の評価等 評価：◎よくできた ○できた △課題である

協働事業の 評価の視点	団体		担当課	
	評価	コメント	評価	コメント
協働事業を行うにあたり、互いの情報等を共有できたか。	◎	できた	◎	リーフレットの作成に当たり、市と団体の知識・情報等を上手く共有できた。
協働事業の目的を共有できたか。	◎	できた	◎	ペット防災の普及啓発という目的のもと協働して事業を実施できた。
協働事業の役割分担は適正だったか。	◎	適正だった	◎	団体の専門的知識を活かしたリーフレットが作成できた。 市は団体の防災訓練参加などペット防災啓発の機会創出に努めた。
互いを尊重し、対等な立場で協働事業を実施できたか。	◎	できた	◎	互いの知識、技能等をそれぞれ活かし事業実施ができた。
協働したことにより、他の地域や市民へ広がりがみられたか。	○	全戸回覧・防災訓練・イベント等に参加したが、市民への周知理解はまだまだと感じる。市民全員に知ってもらえるようこれからも続けていきたい。	○	ペット防災事業は市としても初めての試みであったので、今後も動物愛護推進委員ちーむ富士見の皆さんと協働し、ペット防災の普及啓発を継続して行っていきたい。
<p>【団体の感想等】</p> <p>協働で「あなたとペットの防災対策」リーフレットを作成できたのが良かった。全戸回覧したが見えない方もいるようなのが残念。防災訓練にも参加し啓発を行ったが、防災自体に関心が薄い人も多いので、ペット防災をきっかけにもっと防災に興味を持ってもらえるようになればと思う。ペットを飼っている人はもちろんの事、飼っていない人にも知ってもらいたいのでこれからも啓発活動を続けていきたい。</p> <p>【担当課の感想等】</p> <p>防災訓練をはじめ、商業施設のイベントに参加するなど多くの方々にペット防災講座等を行えたことが良かった。</p> <p>ペット防災事業は、市としても今後も継続して普及啓発していかなければならないと考えているため、今後も動物愛護推進委員ちーむ富士見の皆さんと協働して事業を実施していきたい。</p>				

収 支 決 算 書

採択協働事業の名称 ペット動物災害対策事業

1 収入の部

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
市補助金	200,000	200,000	
推進員会費	5,000	0	
合 計	205,000	200,000	

2 支出の部

(単位 円)

科 目	予算額		決算額		摘 要
		うち補助対象額		うち補助対象額	
印刷製本費・配布費	125,000	125,000	141,048	141,048	防災手帳5000部カラー印刷 リーフレット10000部配布委託
消耗品	30,000	30,000	4,496	4,496	コピー用紙・ラミネートフィルム・インク代
原材料費	35,000	35,000	21,731	21,731	小型犬及び猫に必要な避難物資一式（展示用）
原材料費	15,000	15,000	972	972	クロス（スタッフ識別用108×9枚）
合 計	205,000	205,000	168,247	168,247	